

CPD記録簿

登録番号・氏名 (00567 全地連太郎)

作成例

CPD記録簿(全枚数分)に整理したCPD単位の総計 (84単位)

※印の項目は、必須入力欄です。(1ページ目)

| ①番号※ | ②主催者名※ | ③プログラム名※ | ④プログラム番号 | ⑤教育分野 | ⑥教育形態 | ⑦開始年月日※ | ⑧終了年月日※ | ⑨参加単位数※ | ⑩単位数※ | ⑪CPD単位数※ | ⑫主催者証明※ | ⑬認定機関名※ | ⑭プログラム目標 | ⑮プログラム内容※ |
|--------|-------------------------------|------------------------------|----------|---|--------------------------------|------------|------------|---------|-------|----------|---------|------------------|----------|---|
| 1 | 東関東地質調査業協会 | 巡見 関東ローム層と武蔵野台地 | | | | 2008/5/11 | 2008/5/12 | 1.5 日 | | 15 | ○ | 東関東地質調査業協会 | | (巡見参加)1日半の巡見コースに参加。ローカルソイルの分布や特性などについて、露頭を観察しながら講義を受けた。 |
| 2 | 社団法人 日本技術力向上会 | 技術力向上講習会 | A0001 | | | 2008/9/19 | 2008/1/19 | 3 時間 | | 3 | ○ | 社団法人 日本技術力向上会 | | (講習会受講)土質試験結果の解釈と設計への展開に関する講義 ※講習会のプログラム名からでは、学習内容の判断が困難なケースもあります。プログラム内容が分かるように記入して下さい。 |
| 3 | 静岡県 | 富士川下流域 ハザードマップ作成業務 | | A基礎共通分野9情報・通信情報理論, コンピュータ, インターネット, セキュリティなど | v業務経験7地質関連情報のデータベース化に関する実務 | 2008/10/1 | 2009/3/31 | 1 件 | | 2 | | 本人 | | (GIS構築などの実務経験)河川流域における軟弱地盤の災害形態情報について、電子地図上に二次元的に構築・整理した。 |
| 4 | NPO法人日本ジオツアー | 隠岐の島 ジオツアー | | | | 2009/9/10 | 2009/9/11 | 1.5 日 | | 7.5 | | 本人 | | (ジオツアー参加)島にある特異な地質・地形・植物などを見学にまわった。 |
| 5 | 社団法人全国地質調査業協会連合会 情報化委員会 | GIS構築検討ほか | | A基礎共通分野11その他の基礎共通分野その他上記以外で地質技術者として役に立つ基礎共通分野 | viその他2技術委員会等への出席(委員・幹事の場合) | 2009/9/20 | 2009/9/20 | 3 時間 | | 3 | | 社団法人全国地質調査業協会連合会 | | (委員会活動)WEB-GISの構築と運用に関する検討会議に、委員として参加した。 |
| 6 | 社団法人全国地質調査業協会連合会 | 地質調査技士資格の取得 | | | | 2009/10/1 | 2009/10/1 | 1 取得 | | 20 | | 社団法人全国地質調査業協会連合会 | | (資格取得)地質調査技士資格(現場調査部門)を取得した(資格登録番号12345) |
| 7 | 勤務先(株)〇〇調査 地盤解析課) | ボーリングデータのデータベース化 | | A基礎共通分野1倫理, 哲学倫理倫理規定, 技術倫理, 職業倫理 など | iii企業内研修及びOJT1企業内研修およびOJT | 2009/11/12 | 2009/11/12 | 2 時間 | | 2 | | 勤務先 | | (社内研修)社内で実施してきたボーリング調査結果をデータベース化するにあたり、データベースの作成方法やデータの取り扱い、緯度経度の取り扱いなどについて、社内の課のメンバーで勉強し、データベースの構築手順や運用ルールを作成した。 |
| 8 | 自己学習 | WEB-GISの構築の実務 | | | | 2009/12/30 | 2010/1/9 | 3 時間 | | 1.5 | | 本人 | | (自己学習)ローム社発行「実務に効くWEB-GIS」を講読し、構築の流れや留意点などを学習した。 ※特に自己学習の場合は、学習内容を出来る限り具体的に記入し、使用した教材・学術誌名も併せて記入して下さい。 |
| 9 | 社団法人全国地質調査業協会連合会 | 成果普及講習会(性能設計対応検討、新マーケット創出提案) | | A基礎共通分野11その他の基礎共通分野その他上記以外で地質技術者として役に立つ基礎共通分野 | i講習会・研修会等への参加 1講習会、研修会等への参加 | 2010/3/6 | 2010/3/6 | 2 時間 | | 2 | ○ | 社団法人全国地質調査業協会連合会 | | (講習会受講)地質調査の成果を性能設計分野にどう展開していくかがテーマ。発注機関別、調査分野別の現状や、地質調査をどのようなアプローチでプレゼンするかの講義があった。 |
| 10 | 元請)株式会社岩清水建設 国土交通省 関東地方整備局 | 荒川河川堤防試験工事 | | | | 2010/9/1 | 2010/3/31 | 1 件 | | 1 | | 本人 | | (電子納品の実務経験)国土交通省の電子納品要領案に従い、報告書の電子納品用ファイルを作成した。 |
| 当ページ合計 | | | | | | | | | | 57 | | | | |

CPD記録簿

登録番号・氏名 (00567 全地連太郎)

作成例

(2ページ目)

| ①番号※ | ②主催者名※ | ③プログラム名※ | ④プログラム番号 | ⑤教育分野 | ⑥教育形態 | ⑦開始年月日※ | ⑧終了年月日※ | ⑨参加単位※ | ⑩単位※ | ⑪CPD単位※ | ⑫主催者証明※ | ⑬認定機関名※ | ⑭プログラム目標 | ⑮プログラム内容※ |
|--------|----------------------|--------------|----------|-------|-------|-----------|------------|--------|------|---------|---------|------------------|----------|---|
| 11 | 社団法人全国地質調査業協会 連合会 | ボーリング調査の事故防止 | | | | 2010/9/10 | 2010/9/10 | 10分 | | 4 | | 本人 | | (口頭発表)全地連フォーラムの技術者発表会にてボーリングの事故防止をテーマとした発表を行った。 |
| 12 | 勤務先(株〇〇調査 地盤解析課) | 南海北部地震 被災調査 | | | | 2010/11/1 | 2010/12/15 | 1箇所 | | 20 | | 勤務先(株〇〇調査 地盤解析課) | | (災害調査への参加)道路施設の被害状況を調査し、取りまとめた成果を社内技術誌として報告した。 |
| 13 | 社団法人全国地質調査業協会 連合会 | 「地質と調査」の講読 | | | | 2008/3 | 2010/12 | 6時間 | | 3 | | 本人 | | (協会技術誌の講読)全地連発行「地質と調査」(第〇〇号～第〇〇号)を講読した。 ※講読1回につき30分×年間4回発行分×3年分=6時間=CPD単位 3 ※学会誌講読の場合、学会誌の名称・発行番号(第〇号)・CPDの算出方法を示して下さい。 |
| | | | | | | | | | | | | | | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「⑮プログラム内容」欄は、更新対象のCPDであるかを判断する重要な項目です。 プログラム名からでは、内容の判断が困難なケースもありますので、取得されたCPD(講習会等)の内容を分かりやすく記入して下さい。</p> </div> |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 当ページ合計 | | | | | | | | | | 27 | | | | |